

令和7年11月12日

瀬戸内市議会議長 様

会派視察研修報告書

報告者 明るい明日をつくる会

代表 日下 俊子

下記のとおり明るい明日をつくる会で視察研修を行いましたので、その結果を報告します。

期 間	令和7年10月15日(水)
訪 問 先	里庄町 浅口市
視察事項	駅前整備について
参加者	厚東晃央、小谷和志、原田茂、相澤忠明、日下俊子
概 要	<p>里庄町は、駅周辺地区のバリアフリー化基本構想を策定した。事業費は50億円。合併していない里庄町には財源がなく、今後有利な財源を模索するとともに、事業費の削減にも取り組むとのことである。</p> <p>浅口市は、鴨方駅・金光駅の駅周辺整備を行っている。</p> <p>どちらの駅も合併時に新市計画に位置付け、JRとの交渉・協定をへて、鴨方駅は平成24年に、金光駅は令和3年に供用開始を迎えている。</p>
所 感	<p>浅口市は、合併時にきちんと計画を立て合併特例債で建設している。やはり、本市もどうして短期計画に長船駅のバリアフリー化を入れておかなかったのかといくら悔やんでも悔やみきれない。</p> <p>里庄町は、本市と同じで、バリアフリー化したいが財源がなく、JRとの交渉も進まない状況とのことである。この状況は全く今の本市と同様に思える。</p> <p>今後里庄町の動向も注視しつつ、バリアフリー化計画の有効性も注視して、本市にとって有効な方策・交渉を模索していくことが必要と考える。</p> <p>どちらにしても、長船駅のバリアフリー化は、困っている市民のためにどんなことがあっても前に進めなければいけない。</p>

